

アーカイブ Data Report

NO. 174

(2022年4月27日)

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル5F
E-mail: shikaku@npo-nak.com URL: https://npo-nak.com

NPO 日本アーカイブ協会・岐阜女子大学*・沖縄女子短期大学・学習システム研究会

(*岐阜女子大学デジタルアーカイブ専攻・研究所、沖縄サテライト校)

『飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ』の冊子の作成

若林 萌・久世 均 (岐阜女子大学)

1. 地域資源デジタルアーカイブ

本学では、知識循環型社会においてデジタルアーカイブを有効的に活用し、新たな知を創造するという岐阜女子大学独自の「知的創造サイクル」の手法により、地域課題に実践的な解決方法を確認するために、地域に開かれた地域資源デジタルアーカイブによる知の拠点形成のための研究をしている。このことにより、地域課題に主体的に取り組むことができ、地方創成イノベーションの実現と伝統文化産業の振興ならびに新たな観光資源の発掘を行うことができる。

また、この地域資源デジタルアーカイブは、地域資源のデジタルアーカイブ化とその展開によって、地域課題の実践的な解決や伝統的産業の活性化ならびに新しい文化の創造を目指すものである。具体的には、岐阜県が掲げている地方創生イノベーション計画の呼びかけに応え、地域の代表的な伝統文化産業と観光資源について、デジタルアーカイブ化とその利活用を行い、それぞれの振興ならびに発掘を行うことを意味する。

2. 飛騨高山の匠の技と伝統文化産業の振興

岐阜県の長期構想において、地域資源を活かしたまちづくりが重点課題となっている。岐阜県観光振興プラン（平成25年3月）でも、観光資源の発掘とそれを支える人材の養成が重要な課題と位置づけられている。しかし、これまでは大学と地域との連携は不十分で、地域による真のニーズに応えた教育や研究が大学で取り組まれてきたとは言い難い。

特に、農山間地が多く自然が豊かな岐阜県では、木工等に関する伝統産業の継承や美しい観光資源の活用と発掘が重点課題となっており、それを担う人材の育成と供給が重要となってきた。

このため、本学では、デジタルアーカイブの拠点大学として2013年より、デジタルアーカイブにおける「知的創造サイクル」を開発し、地域資源デジタルアーカイブにおける「知的創造サ



図1 『飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ』の冊子

イクル」の構築ならびに人材養成に不可欠なカリキュラムと教材の開発を行ってきた。

本学では、具体的な地域課題を以下のように設定した。

○伝統産業（春慶塗・一位一刀彫等）を多視点でデジタルアーカイブし、歴史的な視点を総合的にまとめ、匠の“こころ”をオーラルヒストリー等により「知的創造サイクル」を構成し、これらの一部を海外へ発信することにより伝統文化産業の振興を図る。

そのために、

- ・高山市と連携し、飛騨高山の匠の技を「知的創造サイクル」を用いて全学が利用できるデジタルアーカイブ手法について研究をする。
- ・デジタルアーカイブの機能として、教育資料等の有機的な総合保管関連処理の開発研究を行い、大学院における「知的創造サイクル」を支える高度な人材養成システムの研究をする。

そこで、本学では、高山市教育委員会をはじめ、多くの機関のご協力のもとに、岐阜女子大学デジタルアーカイブ専攻ならびに大学院デジタルアーカイブ専攻と共同でデジタルアーカイブした飛騨高山匠の技に関する地域資料【79,166点】を作成した。

3. 『飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ』の冊子の作成

本研究では、本学で作成した地域資源デジタルアーカイブを元に、飛騨高山の匠の技と伝統文化産業の振興策の一つとして、図1の飛騨高山匠の技デジタルアーカイブの広報冊子を作成した。（図2参照）

作成した冊子の構成は、『第1章 飛騨高山匠の技遺産』と『第2章 左甚五郎遺産』の2部構成とし、第1章では、157項目、第2章では43項目のコンテンツで構成した。

内容は、コンテンツ毎に①名称、②アイキャッチ画像、③説明、④アクセス方法、⑤地図情報（QRコード掲載）という内容で構成した。（図3、4）



図2 本冊子のQRコード



図3 飛騨高山匠の技遺産



図4 左甚五郎遺産